

2025 年度
能力強化研修

子どもの学びの改善

2025 年 11 月 11 日(火) ～ 11 月 14 日(金)

募集要項



※当研修は対面で実施予定です。

独立行政法人 国際協力機構
人事部 開発協力人材室

はじめに

これまでの国際社会による教育改善の継続的取組の結果、途上国の就学率は大きく改善しました。他方、アフリカ、南アジア等の貧困層や女子等を中心に、依然として2.51億人が不就学の状態にあります。また、学校に通っていても、良質な教育を受けられず、結果として基礎的な読解力や計算力を習得できていない子どもや若者が6.1億人も存在しています。こうした「学習の危機」と呼ばれる状況が続いており、各国で教育の質の改善が最重要課題の一つとして認識されています。

JICAは「子どもの学びの改善」を通じて、子どもが読み書きや計算といった基礎的な学力を習得するのみならず、自ら学び考える力を身につけ、学習意欲を高めていくことを目指しています。そして、そのためにカリキュラム、教科書・学習教材、授業、学力評価（アセスメント）の一貫性に留意した「学びのサイクル」の強化を支援しています。加えて、この「学びのサイクル」を支えるため、教育政策策定、教育制度改革、学校運営改善等の支援も行っており、総合的な問題解決を図る「学びの改善アプローチ」と総称しています。

教育の改善には、教育行政・政策・予算、カリキュラム、教材、教員、学校施設・設備、地域社会や保護者の関わり等々多くの要因が関連しています。これらの課題を解決すべく、JICAの基礎教育協力では、日本の強みを活かした次の3つのクラスター事業戦略¹：①教科書・教材開発を中心とした学びの改善クラスター、②コミュニティ協働型教育改善クラスター、③誰ひとり取り残さない教育改善クラスターを策定し、重点的に取り組んでいます。その他の課題については、開発パートナーとの連携等を通じて、総合的な協力成果の発現を目指しています。

本研修は、JICA事業をはじめとする国際協力に興味を持ち、今後、教育分野の協力活動に携わりたいと考えている方を対象にしています。

具体的な事例紹介を織り交ぜながら、当該分野の業務を行うために必要な知識を深めていくことを目的としています。本研修の受講を通じて、より多くの方が基礎教育分野のJICA事業や国際協力に参加されることを期待しています。

¹ これら主要な取り組みはグローバル・アジェンダ(中期目標の重点課題のサブ項目ごとのJICAの事業戦略)として定められているもの。リンク：

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html>

1. 研修コース名研修期間、募集人数

- (1) 研修コース名 : 子どもの学びの改善
- (2) 研修期間 : 2025 年 11 月 11 日(火)～11 月 14 日(金)^{※4 日間}
- (3) 募集人数 : 20 名程度
 - ※ (一般公募による参加者とは別に、JICA 内部からも若干名、研修参加者を募集する予定)

2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす者としてします。

- (1) 将来、専門家等として JICA 事業に携わる意志があること。
- (2) 国際協力や教育の実務経験を有すること。
 - ※ 実務経験例：JICA 海外協力隊、NGO、国際機関、開発コンサルタント、国内外の学校教育現場、国内外のノンフォーマル教育の現場、教育分野の民間企業、等
- (3) 全日程参加可能であること。

3. 研修会場

本研修は対面で実施します。

【会場住所】

独立行政法人国際協力機構
国際協力機構市ヶ谷ビル（JICA 市ヶ谷ビル）
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5

※ JICA 本部（千代田区二番町／最寄駅「麹町」）ではありません。

4. 研修概要

- (1) 目的
国際協力教育に関心がある人材を対象に、広く JICA 教育協力の考え方（前述3つのクラスター事業戦略）や実際の事業経験を共有し、途上国における JICA 教育協力の理解促進を図るとともに、国際協力人材としての素地を養い、今後の同分野に関わる専門人材育成の一環とする。

(2) 日程案（概要）

11/11（火）	・ 国際教育協力の動向 ・ JICA の基礎教育協力の変遷 ・ グローバル・アジェンダ（課題別事業戦略：GA）とクラスター事業戦略の概要 ・ プロジェクト評価
11/12（水）	① 教科書・教材開発を中心とした学びの改善クラスター 1. 考え方とその概要 2. 事例紹介 3. 演習 【キャリア紹介】 ジュニア専門員、国際協力専門員、JICA 職員 等
11/13（木）	②コミュニティ協働型教育改善クラスター 1. 考え方とその概要 2. 事例紹介 3. 演習（例：「みんなの学校」基礎＋応用モデル） 【キャリア紹介】 国際協力専門家、コンサルタント 等 ※ 個別相談の時間を設けるため、終了時刻が若干後ろ倒しになる可能性があります。
11/14（金）	③誰ひとり取り残さない教育改善クラスター（ジェンダー、障害を中心に） 1. 考え方とその概要 2. 事例紹介 3. ディスカッション（技術協力プロジェクトにおけるジェンダー配慮、障害配慮を考える） 【振り返り】 ・ 今後の自身のキャリア相談

※ 本日程案は暫定版につき、内容や順番に変更の可能性があります。少人数のグループに分かれ、参加型となるプログラムを想定しています。

※ 全日程 9:30－17:30 の実施予定です。

5. 事前課題

事前課題として、参考資料（視聴覚教材含む）による事前学習がありま

す。参考資料は研修 1 か月前を目途に連絡します。

6. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」という。)から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、通知が届かない場合は、「人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

(1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に人材登録がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

「PARTNER」(人材登録)の URL

<https://partner.jica.go.jp/Account/HRAboutRegist>

【PARTNER 登録の注意事項】

応募時には PARTNER マイページの「登録内容の確認／更新」にて、所属先などの情報を最新に更新してください。

また、更新の際には、「プロフィール公開」欄は「希望する」を選択し、「プロフィール公開対象」には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ(<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>)からダウンロードしてください。①の研修用履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書(研修用履歴書)

応募に必要な「**研修用履歴書**」を「PARTNER」上で作成して提出してください(履歴書への写真添付は不要です)。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル名は「氏名_1 履歴書」として、**PDF 化**

して提出してください。

② 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目（第 4 項目）に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名_2 自己申告書」として、PDF 化して提出してください。

③ 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。なお、推薦書は書式不問です。自営の方や所属先のない方、所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方など、推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してご提出ください。ファイル名は「氏名_3 推薦書」として、PDF 化して提出してください。

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください（予め応募書類をご準備ください）。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「WEB から応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記（2）の応募書類を添付して [PDF 化して提出してください。](#)

【PARTNER 人材登録に関する問い合わせ先】
独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局
こちらのお問い合わせフォームより
<https://partner.jica.go.jp/Inquiry/Input>

7. 応募締め切り

締切日： **2025 年 9 月 9 日(火)**

8. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2025 年 10 月 8 日(水)**を目途に、「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号（受付番号）を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。**書面による通知、JICA ホームページ上では発表しません。**

ご自身の応募案件番号（受付番号）は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答えできませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

9. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

10. 参加費用

無料

11. 留意事項

- (1) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (2) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退はできるだけご遠慮ください。
- (3) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (4) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業への関わり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。

- (5) 受講のために必要な経費は自己負担となります（宿泊先の紹介および幹
旋は行っていないところ、あらかじめご了承ください）。
- (6) 研修は対面で実施しますが、演習や講義はオンラインで実施する場合が
ありますので、研修には各自ノートパソコン、イヤフォン/マイクをご持参
ください。
- (7) 所属先推薦書を含む応募書類に虚偽の記載が判明した場合、選考合格を
取り消すとともに、修了証の発行は致しません。

以上

様式1 自己申告書

様式2 推薦書（書式不問）

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報（セミナー・イベントやホームページの案内等）や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【募集・選考に関する問い合わせ先】

独立行政法人 国際協力機構 人事部開発協力人材室（研修管理室）
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル
E-mail: hrgtc@jica.go.jp

【応募時のシステムに関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局
こちらのお問い合わせフォームより <https://partner.jica.go.jp/>